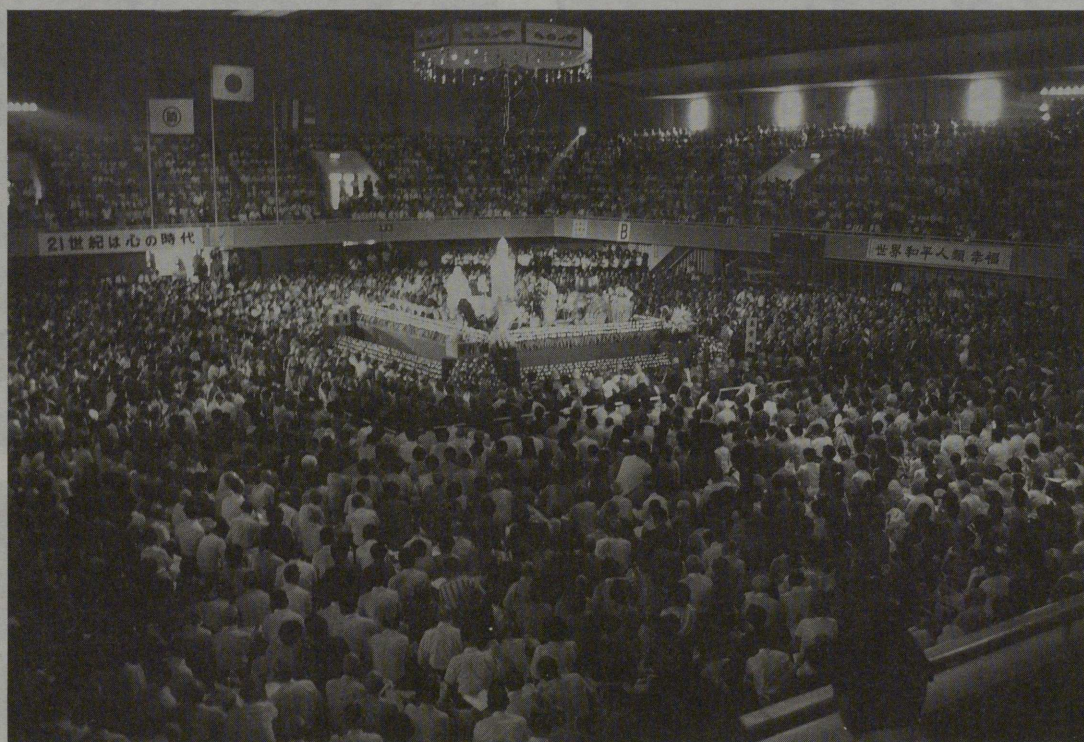


会大阜刺我焼小本日 No. 342

全ヤ 10/88

特集 第33回全日本仏教徒岐阜大会開催

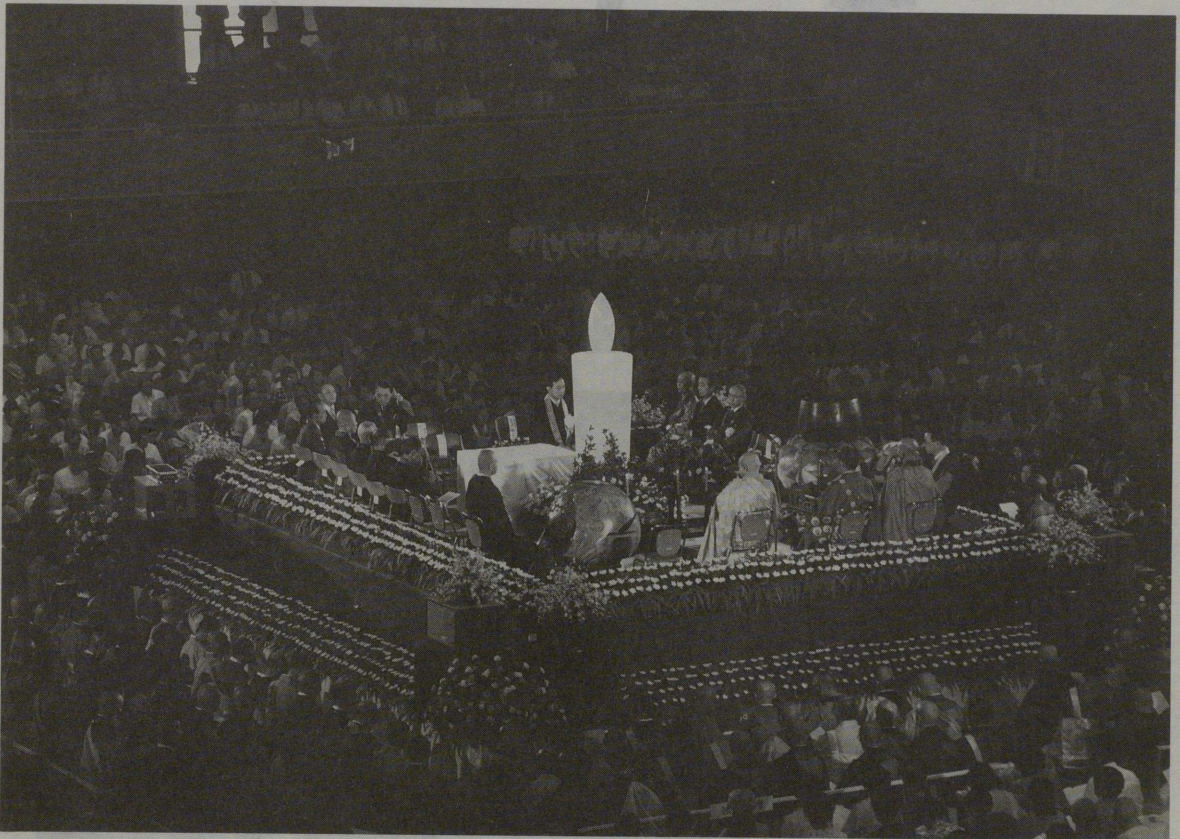


岐阜県民体育館での大会式典。超満員、約1万3千人が参集した。

全日本仏教会

第33回全日本仏教徒岐阜大会

1万3千人参集 これまで最高



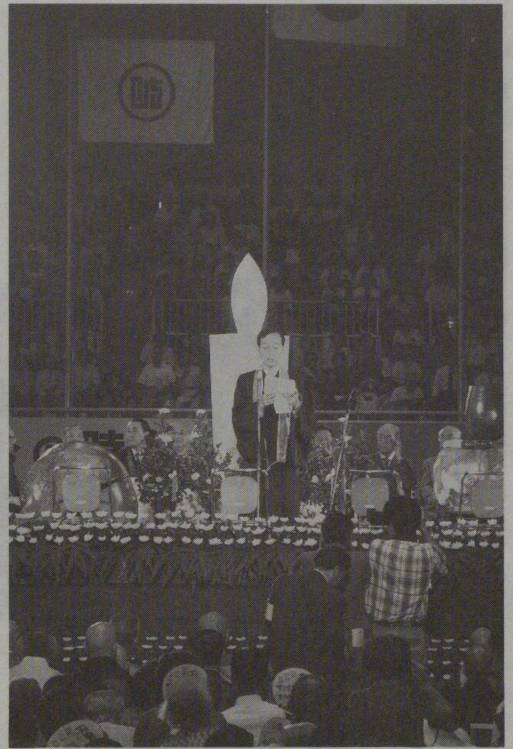
体育館中央にステージが設けられ式典が行なわれた

第三十三回全日本仏教徒岐阜大会（全日本仏教会・岐阜県仏教会主催）が、去る九月十日、岐阜県民体育館で開催され、岐阜県内を中心に約一万三千人が参集。この動員数は二十年前に岐阜県で開催された第十五回大会の一万人をさらに上回るものであり、全仏大会としてはこれまでで最大規模のものとなった。

さらに、「二十一世紀は心の時代」をメインテーマとした今大会では、その一環行事として、八月二十五日に「檀信徒大会」（瑞浪市総合文化センター）、大会前日の九月九日に「仏教婦人大会」（大垣市文化会館）と十万人のアンケートをもとにした「公開シンポジウム―医療と仏教の接点」（岐阜教育大学）、また大会翌日の九月十一日には「幼児と母親大会」（岐阜市民会館）も開催されたが、これらもすべて場内満員の大盛況となった。



講演する花山勝友武蔵野女子大学教授



あいさつする大谷光真大会総裁

唱和の読経 場内震わす

体育館の中央に設えたステージを囲むように一万人を超える参加者が、一階はもとより二階もぎっしり。会場はいっすいの余地もないほどに人でうめつくされ、すごい熱気に包まれた。

第一部は式典。寺町研山大会本部長（岐阜市仏教会長）による開会の辞、加納博司大会実行委員長（岐阜県仏教会長）による今大会の経過報告に続いて、谷耕月大会名誉会長（岐阜県仏教会名誉会長・臨済宗妙心寺派正眼寺僧堂師家）の導

師による読経。一万人を超える人々の読経は場内を震わせた。

続いて、主催者側を代表して大谷光真大会総裁（全日本仏教会会長・浄土真宗本願寺派門主）（別掲）、杉山令肇大会会長（岐阜県仏教会顧問・参議院議員）、安田梅吉岐阜県檀信徒会名誉会長があいさつ。来賓あいさつでは、文部大臣の中島源太郎氏をはじめ、渡辺栄一衆議院議員、上松陽助岐阜県知事、蒔田浩岐阜市長らが祝辞を述べた。

第二部は総会であるが、今大会は、これまでの全仏大会とは違い「会議」という形をとらずに行われたため、各テーマによる部会やそれをもとにした部会報告や宣言決議文発表といった一連の議事進行は行われなかった。議長団選出の後、前日の公開シンポジウムの報告がなされ、それに続いて岐阜大会の決議文が発表された。

昼食の間に舞台は一転。可愛い子供たちも参加しての華やかな郷土芸能が行われ、場内もほっと一息。そのムードのまま第三部は講演会。松原泰道南無の会長、花山勝友武蔵野女子大学教授、広瀬泉大谷大学教授がそれぞれ三十分ずつ講演。各々が独特のユーモアあふれる語り口で仏の心、人生の機微、そして生きることの尊さを説き、場内は笑いと共に感に包まれた。

第四部はアトラクション。原田直之とその他による民謡大会に場内は多めに盛り上がり、午後三時に大盛会のうちに閉会となった。

ありません。

しかも、最近、家庭で、また学校や職場で、心の荒廃を象徴するような出来事が次々に起こっています。

これまであまり疑うことのなかった人と人との絆が、意外に脆く、簡単に

大谷大会総裁あいさつ

経済的繁栄を謳歌しています。

しかし、次々に生産される商品の洪水は、消費の増大こそ幸福の増大に他ならないという風潮を育てました。

経文に「田あれば田に憂え、宅あれば宅に憂う」とありますように、物の洪水が人間の幸せを保障するわけでは

崩壊していくさまをまのあたりに知らされます。

こうした状況の中で、「心」の問題をテーマにした本大会の開催は、きわめて時機を得たものといえます。

今後、自らの人生の意義を自覚し、人と人との相互の信頼を取り戻し、再

第三十三回全日本仏教徒岐阜大会が、「二十一世紀は心の時代」をメインテーマに開催されるにあたりまして、一言御挨拶申し上げます。

今日、日本の国は、物質面ではたいへん豊かになり、多くの人たちがその

構築していくためには、政治や教育に携わる方々の役割りも大きいと存じますが、私たち仏法を学び広めようと活動している者の責務も、決して小さくないからです。

岐阜県では、昭和四十二年に開催された第十五回全日本仏教徒大会で「お経を習おう運動」が提唱され、以後、僧侶、檀信徒一体となった読経の声が、県内各地域で朝な夕なに、響き渡っていると聞きます。

このたびの大会を契機に、そうした活動の輪が一層広がり、新しい時代に向かつて、心の豊かさを大切にする社会建設が着実に前進するよう念じ上げ、御挨拶いたします。



会場からあふれた人々は、屋外の特設テント席にて岐阜放送テレビで放映された実況生中継を観覧した



超満員の第33回全日本仏教徒岐阜大会祝賀会

大会前夜の祝賀会

大会前日九月九日の夕刻、大会前夜祭ともいべき岐阜県仏教会主催の祝賀会が、大谷光真浄土真宗本願寺派門主（全日本仏教会会長）を迎えて、岐阜グランドホテルにおいて盛大に催された。

岐阜県内から約七百五十名が参集。着席形式のパーティーで、さすがの大会場もぎっしり人でうまいった。

祝賀会には、岐阜県下の政財界、著名人をはじめ、タイ国、韓国、中国といった外国からの来賓も出席。野田千暁さんの美声による名司会（野田さんは大会の司会もおつとめになりました）により、華やかで和やかな祝賀会となった。

大垣市の全日本仏教徒婦人大会で講演をする瀬戸内寂聴師



岐阜市民会館大ホールで約千五百人を集めて開かれた幼児と母親大会



県下各地でイベント

第三十三回全日本仏教徒岐阜大会の一環として、岐阜県各地でイベントがおこなわれた。

全日本仏教徒 檀信徒大会



講演するひろさちや氏

八月二十五日、瑞浪市土岐町の瑞浪市総合文化センターで開催。約八百名が参加した。

世界平和祈願、式典に続き、加納博司岐阜県仏教会長が「仏法東漸の道」と題して約三十分の法話を行った。

午後からは、ひろさちや氏による記念講演。「現代日本人と仏教」と題して約一時間半にわたって熱弁をふるった。

全日本仏教徒 婦人大会

九月九日、大垣市文化会館で約七百人が参加して行なわれた。

式典に続いて「大垣ママさんコーラス」

幼児と母親大会

九月十一日、岐阜市民会館大ホールで岐阜県内の仏教系幼稚園・保育園より、幼児と母親約千五百人が参加した。

式典に続いて、仏典童話『さるのほなし』のお話、影絵劇のアトラクションが行なわれ、満員の会場では子供たちが目をきらきらさせながら仏典の心を伝える話に聞き入っていた。

援を求めてまいりました。

現在、この孤児院には六百名近い子供達が収容されておりますが、さらに、付近の家を失った多くの人々が、孤児院に避難をしているとのことです。

本会としては、今般の洪水により大きな被害を受けました孤児院ならびに

バン格拉デシユに救援金

奮って御応募のお願い

の、食糧、飲料水、医薬品の不足が深刻化しており、衛生状態の悪化による赤痢、コレラ等の疫病の蔓延が心配されております。

本大会と十数年前より関りのあるデッカ市のダンマラージカ仏教孤児院も、この度の洪水により床上浸水等の大きな被害をうけ、日本の仏教徒に対し救

(送金先)

東京都港区芝公園四一七ー四

財全日本仏教会

郵便振替 東京2ー59547

シンポジウム



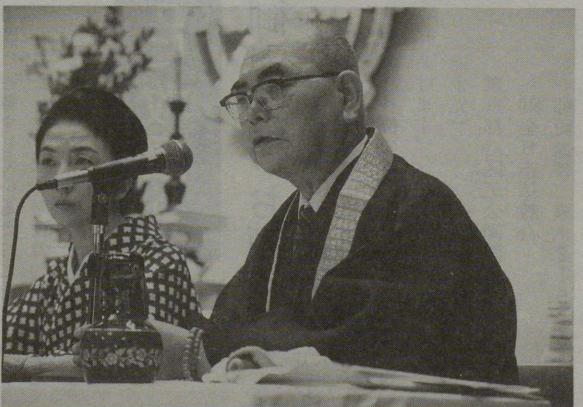
藤井正雄大正大学教授



山田行雄岐阜教育大学教授



竹腰昭道聖病院長



蓮寺諦成師

医療と仏教の接点

五人のパネラー迎え

第三十三回全日本仏教徒岐阜大会の関連事業として行われた「十万人のアンケート」(岐

阜県内を中心に約八万六千部回収)の集計結果をもとにした「公開シンポジウム―医療と仏教の接点―」が、大会前日の九日午後一時より岐阜教育大学において

開催された。

会場には、僧侶、檀信徒、学生、マスコミ関係者ら老若男女約三百名が参加し、熱心に聴講。この問題への関心の高さがうかがわれた。

パネラーには、司会として「十万人アンケート」の設問監修をされた藤井正雄

・大正大学教授(宗教学)と、山田行雄・岐阜教育大学教授(仏教学)、そして医学者の立場から、岐阜市の聖病院長で僧侶でもある竹腰昭道師、僧侶で宗教臨床研究会を主催されホスピスの現場に立たれておられる蓮寺諦成師、「脳死を越えて」でヒューマンドキュメンタリー大賞を受賞された女優の藤村志保さん。それに助言者として岐阜大学医学部教授の広瀬一氏も参加された。

野口善雄全仏理事長のあいさつ、加納博司大会実行委員長(岐阜県仏教連会)の経過説明。戸部秀斉岐阜県仏教理事のアンケート結果発表に続き、藤井正雄・大正大学教授がアンケートの回答内容を総括して「寺院と檀信徒の意識のずれ」

約三百名が熱心に聴講



を指摘。さらに、このアンケートには大きくわけて生の問題、死の問題の二つの側面があるとして、このシンポジウムで新しい生命倫理や死の定義をどうとらえていくのか考えたいと提起し討議に入った。

終末医療やガンの告知については、竹腰聖病院長が、延命治療の進歩が逆に患者に苦痛を強いる結果になっている実例を報告。また竹腰氏は「医療と仏教の接点は、医療は死にいたる生を扱い、仏教は死んでいきる生を教える、この点にある」と発言。蓮寺師は、ガンで死の床にあるおばあさんが念仏によって心の不安を乗り越えたという体験を報告。討論では他に、医療の進歩に心の問題に対するケアが追いついていかない実態などがと

岐阜教育大学で開かれたシンポジウム。会場は熱心な聴講者でいっぱい。下は体験を語る藤村志保さん。



りあげられ、これに対して僧侶の役割の重要性や、また宗教者の病人への対応の仕方のむずかしさなどが指摘された。続いて、脳死・臓器移植が取り上げられた。

山田行雄・岐阜教育大学教授が、「仏教は心と身体を切り離すことのできないという一元論にたつものであり、その意味で仏教では脳死や臓器移植は認められない」と、臓器移植反対の立場を表明。

それに対して、藤井正雄・大正大学教授が「たしかに仏教は心身一如を説くが祖師のなかには、身体に対する執着を離れることを説く方もおられる」「仏教の精神の根本には慈悲ということがある」と反対の立場を表明し、仏教教義の原則

論にたつ立場と、新しい生命倫理を模索していこうとする立場の違いが対立する形となった。

また、腎臓バンクに登録しているという藤村志保さんは「自分の腎臓がよそ様の身体で生き続ける、これが私がこの世に生まれてきた証、生かされてきたことへの感謝のしるし」と発言。これらパ

ネラーどおしのやりとりに会場から拍手がわきおこる場面もあり、この問題は会場にも大きな波紋をなげかけた。

時間の都合もあり、この論議は途中で打ち切りとなったが、その後会場からの質疑応答で、脳死問題から「死をどうとらえるか」といった質問もだされ、「医療と仏教の接点」というテーマがかかえる問題の多様性と、議論の仕方のむずかしさといったことがうきばりにされるシンポジウムとなった。

最後に藤井正雄大正大学教授が「このシンポジウムが仏教界が医療問題について考える新しいスタートになることを願う」としめくり、午後四時半に閉会となった。

寺院用具

浅草通り五鳳会加盟店

株式会社 決田商店

東京都台東区寿2-10-9 (地下鉄原町駅前)

電話 代表(841) 4965

WFBRosanZel ス大会参加ツアー

締め切り迫る

旅行期日 / (A・西海岸コース) 昭和63年11月19日(土)～11月26日(日)

(B・メキシココース) 昭和63年11月19日(土)～11月27日(日)

旅行期日 / (A・西海岸コース) 夕刻成田発

↓ロサンゼルス(羅府仏教連合会懇親会・世界仏教徒大会開会式に参加) (3泊) ↓ラスベガス(泊) ↓サンフランシスコ(2泊) ↓ロサンゼルス(機中泊) 午後成田着

【B・メキシココース】ロサンゼルス3泊(Aコースと同じ) ↓メキシコシティ経由 ↓メリダ(ウシュマル・カバールの

遺跡見学) (2泊) ↓メキシコシティ(市内及び国立人類学博物館観光(テオティワカン遺跡見学) (2泊) ↓ロサンゼルス(機中泊) 午後成田着

。今大会には、本会会長である大谷光真浄土真宗本願寺派門主も出席されます。ツアーの費用や内容等につきましては、本誌七・九月号に掲載しております。お問い合わせ、お申し込みは全仏事務総局国際文化部まで

電話 ○三(四三七) 九二七五

哀 悼

小峰 令丸師(元全仏組織部長)

九月八日、五十八歳で遷化。智山派多摩教区長。本会の庶務部長、財務部長や各種の委員も歴任した。

九月～十日 第33回全日本仏教徒岐阜大会
十二日 日宗連理事會
人権宣言四十周年実行委員会

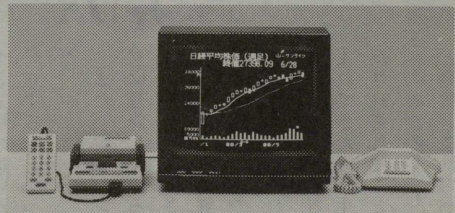
十三日 税務委員会
十四日 局内会議
十八日 本派全戦没者追悼法要参列
十九日 人権宣言四十周年実行委員会
二十四日 解放研究所宗教部会二十周年祝賀会出席

事務局録事

(九月)

- 一日 局内会議
- 六日 K B K K二十周年式典出席
- 人権宣言四十周年実行委員会
- 七日 国際専門委員会
- 二十八日 局内会議
- 二十九日 大阪府仏教徒大会出席

ファミコンで、リアルタイムの株式投資。
時価速報など、最新の株式情報がたちまちわかる。早朝、深夜でも株式の売買注文がピピッとできる。山一のサンラインF-III。わが家のファミコンが、こんなに役にたつとは。



山一のサンライン

ピピッと株式、ファミコンで。

お申込みは最寄りの山一証券、本・支店または下記の電話へ

「サンライン」専用お問合せ電話(通話料金無料)

☎/局番(なし) 0120-001234

※平日/8:30-17:00
※土曜(第2・3を除く)/8:30-12:00

山一証券

〒104 東京都中央区八重洲2の4の1
☎(03)276-3181(代表)

詳しい資料をご希望の方は、右の資料請求券を葉書に貼って住所・氏名・電話番号・職業・年齢をご記入の上 〒103 東京・日本橋区内 山一証券情報部宛ご請求ください。

資料請求券
サンラインF-III
全 仏